

## 平成 22 年度 熊本大学総合技術研究会参加報告

電気電子情報系班 原田 龍一

標記の研究会に参加したので、報告する。

### 1. 概要

日時：平成 23 年 3 月 17 日 ～ 18 日

会場：熊本大学 黒髪キャンパス

### 2. 所感

本研究会は東日本大震災，それに伴う計画停電の影響により、参加者が大幅減となった中行なわれた。予定されていた特別講演も中止となり、その時間を利用して「技術職員の今後を考えるシンポジウム」が開かれた。

高専と違い、大学では技術職員は各研究室付きの場合が多く、そうした職員が人員削減の対象になっているという。こうしたことから、技術職員をまとめあげ組織の一元化をはかり、学科単位そして全学へと支援の範囲を広げている。技術部として部屋を一つにまとめている機関もあったが、毎日顔を合わせられるという点で有効であるといった意見や、逆に結局各担当の部署に行くことになるので効率が悪いといった意見も見られた。また、人員削減の上に支援の範囲が広がることにより一人が多分野の仕事を持つことになり、特定職員への仕事の集中化や本人のモチベーションの低下などが危惧され、今後は非常勤職員の採用といったことも含めた仕事の分散化が重要になってくるであろうという意見が見られた。

残念ながら多くの発表が中止となってしまった本研究会ではあったが、様々な機関の職員の今後の技術職員のあり方について意見を聞いたことはとても有意義であった。